

令和7年1月20日

泉北環境整備施設組合
管理者 辻 宏康 様

泉北環境整備施設組合プロポーザル審査委員会
(泉北環境整備施設組合地域新電力会社の設立及び運営事業に係るパートナー事業者選定)
委員長 山野 真範

泉北環境整備施設組合地域新電力会社の設立及び運営事業に係る
パートナー事業者選定公募型プロポーザル審査結果について

標記の件について、優先交渉権者を決定しましたので、審査委員会の審査結果及び講評を報告します。

1. 審査結果

優先交渉権者 : パシフィックパワー株式会社

審査項目\提案受付番号	A
事業者の信用度の得点	120/120
事業運営方針・運営能力の得点	172/210
事業計画の得点	440/480
スケジュールとその他独自提案の得点	50/60
合計点	782/870

2. 講 評

泉北環境整備施設組合（以下「組合」という）地域新電力会社の設立及び運営事業に係るパートナー事業者の選定については、2者から参加表明書の提出があり、うち1者から辞退届の提出があった。実施要領に基づき選定手続を行い、優先交渉権者としての適否を審査した結果、「パシフィックパワー株式会社」が優先交渉権者となった。

「パシフィックパワー株式会社」の評価については、以下の通りである。

事業者の信用度においては、財務状況から経営基盤が強固であり、また、全国で18社の自治体新電力会社の設立・運営を行っており、国内におけるシェアNo. 1であるという実績を高く評価した。

運営に関する評価においては、電力市場の制度や市場動向を適切に把握しており、需給管理業務の遂行能力についても、求められる能力及び人材が整備されていた。また、事業分析・管理能力についても、これまでの実績によるノウハウや能力から、高く評価した。

事業計画に関する評価においては、指定条件による収支計画のほか、事業の収益に影響するリスクについての提案や、年度変化による感度分析及び現実的な事業計画での収益性の確認もなされていた。業務委託の内容については、会社設立業務及び会社運営業務ともに、追加項目が示されるなど、包括委託による全面的なサポートが提案されていた。また、資金調達においても、運転資金の圧縮の提案があり、資本金の削減が見込めるものであり、事業計画の各項目で高く評価した。

スケジュールと独自提案においては、会社設立のための手続から電力供給開始まで、すべてのプロセスにおけるサポートにより、組合の事務負担を最小化する提案となっており、早期の事業開始が実現できる提案であった。また、独自提案において、独自調整額及び利益還元方法の提案があり、高く評価した。

今後の新電力会社の運営について、電力事業というものは、予測が難しい性質のものではあるが、泉北クリーンセンターの電源を最大限に活用し、収益性を追求することよりも、地域の公共施設の運営を安定的に実施できるように、泉北クリーンセンターの運営方針と綿密に調整を行い、効率的な新電力会社の運営を実施できるよう努めていただきたい。なお、組合への意見となるが、電源である泉北クリーンセンターの停止が、自治体新電力会社運営の最大のリスクであることには、留意いただきたい。

最後に、今回、優先交渉権者に特定された「パシフィックパワー株式会社」には、業務の実施について組合及び構成市と十分な協議を行い、その意見を反映しながら、会社設立業務を確実に遂行していただき、設立後は安定した運営に支援をいただくことを期待する。

3. 審査の経過

審査の経過は下表のとおりです。

日 程	内 容
令和6年 11月26日	第1回審査委員会
12月10日	実施要領等の告示
12月20日	実施要領等への質疑受付締切
12月20日	参加表明書の受付締切
12月23日	参加資格確認結果の通知
令和7年 1月9日	企画提案書の提出期限
1月15日	第2回審査委員会（ヒアリング、最終審査）

以上